

1.調査目的等

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

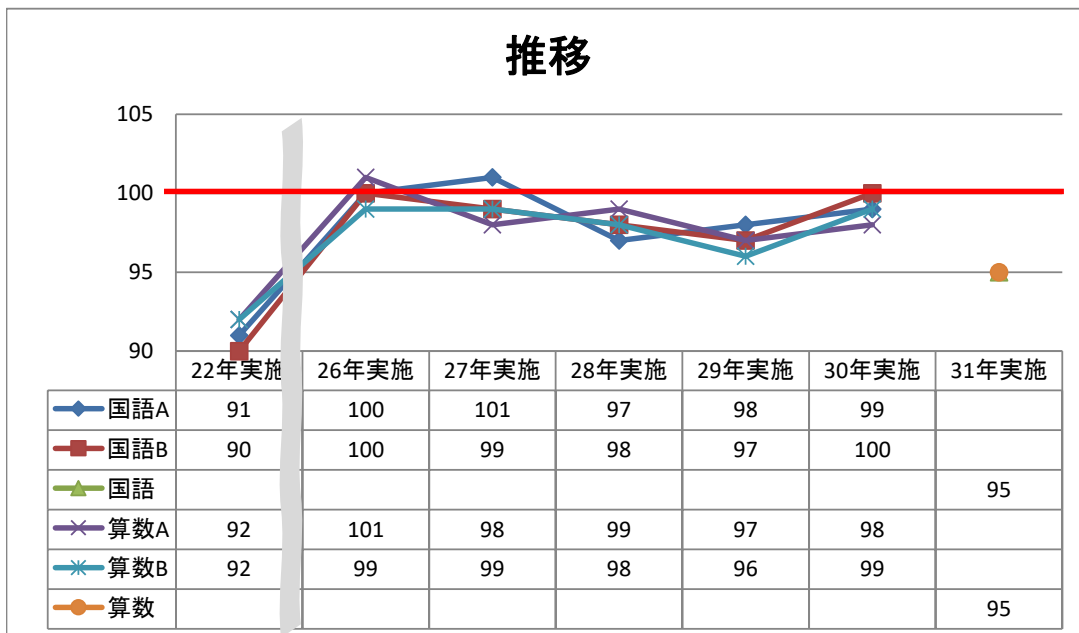
【短期指標】
 【国語】標準化得点100
 【算数】標準化得点100

3.指標に向けての取組

- 授業改善(「対話しながら、自分の考えを高める授業」を日々の授業づくりで積極的に実践する。)
- 習熟度別分割授業の実施(算数科の重要単元において、指導方法工夫改善教員による習熟度別分割授業を実施する。)
- 家庭学習の充実(課題克服のために、児童の実態や調査結果をもとにした家庭学習の問題選定や補充学習による個別指導の充実に努める。)
- 家庭との連携(基本的生活習慣の確立と家庭学習・自学の習慣化をめざす。)

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	算数
本校	95	95
嘉麻市	98	97
全国	100	100



※ 平成31年度実施から「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更

5.各学校における分析

国語、算数ともに、指標100を達成することができなかったが、5年生のときの福岡県学力調査の標準化得点からの推移を見ると、国語では約17ポイント、算数では約15ポイントの伸びが見られた。

学力アップ教員を5年生算数科において活用したことで、年間を通して、複数体制で指導を行うことができたことや算数科において、重要単元を設定し、指導方法工夫改善教員による習熟度別分割授業を実施したことが、成果につながったと考える。指標達成に向けて、指導方法工夫改善による習熟度別分割授業の数を増やし、さらに学力の底上げを図る必要がある。また、主題研究を日々の授業改善につなげるとともに、すべての教科等において、自分の考えたことを表現したり、友だちに説明したりする学習活動を位置づけ、充実させる必要がある。

家庭学習については、「家庭学習系統表」をもとに、家庭学習の内容と量を確実に実施するとともに、全国学力・学習状況調査の過去問題に取り組んだことが成果につながったが、問題選定や補充学習による個別指導をより充実させていく必要がある。また、基本的な生活習慣である「早寝」については、県の平均を下回っており、家庭との連携を深めていく必要がある。

「全国学力・学習状況調査」について

【国語】

目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む問題の正答率が高かった。

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題、学年別漢字配当表に示されている漢字「関心」を文の中で正しく使う問題の正答率が低かった。

【算数】

長方形を直線で切ってきた図形の中から台形を選ぶ問題、棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る問題の正答率が高かった。

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する問題の正答率が低かった。

6.各学校における今後の取組

○ 授業改善では、「問いづくり・思考づくり・価値づくり」のある授業を日々の授業で実践する。学期末児童アンケート項目「交流することで自分の考えが深まった。」において4段階評定尺度3.5以上をめざす。

○ 算数科において、毎時間TT授業を実施し、きめ細かな指導を行うとともに、重要単元において、全学年学期に1回習熟度別分割授業を実施する。

○ 課題克服のために、児童の実態や調査結果をもとにした家庭学習の問題選定や補充学習による個別指導の充実を努める。

○ 基本的な生活習慣の確立、家庭学習・自学の習慣化に向けて、家庭との連携をさらに深める。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。

○ 学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるためのPDCAサイクルについて指導助言を行う。

○ 学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。

○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができるように、指導と評価の一体化を図る即時評価の取組を奨励したり単元終末段階における習熟度別学習の取組を支援したりする。

○ 校内研修や学校訪問において、思考力を発揮させ最善解を導き出す「かく力」を育成するための指導助言を行う。

○ 学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導助言を行う。

○ 家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての指導助言や支援を行う。

○ 主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。